
Fiery EX2000 / EX2000d カラーサーバー

Windows®セキュリティ更新プログラム適用手順書

Fiery EX2000 / EX2000d カラーサーバーをご利用いただき、まことにありがとうございます。
ご理解をいたします。

本書では、次の製品に対応したWindows®セキュリティ更新プログラムの適用方法について説明します。

- ・ Fiery EX2000 カラーサーバー
システムソフトウェアバージョン 1.22J
- ・ Fiery EX2000d カラーサーバー
システムソフトウェアバージョン 2.0J SP1

なお、Fiery EX2000カラーサーバー システムソフトウェアバージョン 1.1Jをお使いの場合には、ソフトウェアバージョンを1.22Jへアップグレードしていただく必要があります。また、Fiery EX2000dカラーサーバー システムソフトウェアバージョン 1.22J / 2.0Jをお使いの場合には、ソフトウェアバージョンを2.0JSP1へアップグレードしていただく必要があります。

アップグレードに関する詳細については、弊社Color DocuTechシリーズ営業担当者までお問合せください。

補足: 本書では、Fiery EX2000とFiery EX2000dを総称して「Fieryカラーサーバー」、システムソフトウェアバージョン 1.22Jを「v1.2J」、「システムソフトウェアバージョン 2.0J」を「v2.0J」とそれぞれ略します。

Windows®のセキュリティ更新プログラムについて

Fieryカラーサーバーでは、オペレーティングシステムとして、Windows NT® WorkStation Version 4.0を使用しています。したがってWindowsの脆弱性が存在し、対策を行う必要があります。対策は、次の順に実行してください。

- ・ セキュリティ更新プログラムの情報について

弊社ホームページにて、Windowsが持つ脆弱性の修正プログラムについて、適用の必要性と動作確認の状況を確認します。

- ・ 「MS SERVICE PACK 6a + HOTFIXES」の適用
「MS SERVICE PACK 6a + HOTFIXES」をFieryカラーサーバーへ適用します。

・ Windows® Updateの実施手順

マイクロソフト株式会社から、提供されているセキュリティ更新プログラムを Windows® Updateにより更新します。

・ セキュリティ更新プログラムのダウンロードと適用手順

Windows® Updateに対応していないセキュリティ更新プログラムを、ダウンロードし、Fieryカラーサーバーに適用します。

Fieryカラーサーバーを外部ネットワークに接続していない場合にも、この手順を実施してください。

セキュリティ更新プログラムの情報について

マイクロソフト株式会社から、提供されているセキュリティ更新プログラムを適用することにより、Fieryカラーサーバーの動作に影響を与える可能性があります。

Fieryカラーサーバーの動作に影響を与えないことを確認したセキュリティ更新プログラムの情報は、弊社ホームページにて展開いたします。

次のURL（アドレス）から、Windows®が持つ脆弱性の修正プログラム適用の必要性と、Fieryカラーサーバーでの動作確認状況を確認してください。随時、改定および追加をいたしますので、常に最新の情報をご確認ください。

<http://www.fujixerox.co.jp/service/netsecurity/>

動作確認が済んでいない修正プログラムを適用する場合、Fieryカラーサーバーの動作に影響を与える可能性があることをご留意ください。

「MS SERVICE PACK 6a + HOTFIXES」の適用

弊社が提供するソフトウェアを、Fieryカラーサーバーに適用してください。

カラーサーバー	ソフトウェアバージョン	提供形態
Fiery EX2000	v1.2J	CD（ラベル名は、「EFI Fiery® EX2000d v1.2J MS SERVICE PACK 6a + HOTFIXES」）
Fiery EX2000d	v2.0J SP1	CD（SP1のメディアキット内）

注記: Fiery EX2000 v1.2Jの「MS SERVICE PACK 6a + HOTFIXES」は、Fiery EX2000d システムソフトウェア v1.2Jには適用しないでください。

Fiery EX2000 v1.2Jの「MS SERVICE PACK 6a + HOTFIXES」適用手順

1. Fieryカラーサーバー以外のすべてのアプリケーションを終了します。
Fieryカラーサーバー本体のLCDの表示が、使用可能状態であることを確認してください。
2. 「EFI Fiery® EX2000 v1.2J MS SERVICE PACK 6a + HOTFIXES」CDをCD-ROMドライブに挿入します。
3. Command WorkStationのメニューから、「ジョブ」、「ダウンロード」の順に選択します。
4. 「EFI Fiery® EX2000 v1.2J MS SERVICE PACK 6a + HOTFIXES」CD内のファイル「1-EG20V.ps」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。
5. 「ロジカルプリンタ：直接接続キュー」を選択し、「インポート」ボタンをクリックします。
使用可能な状態になった後、60秒間待ってください。
6. デスクトップ上のスタートメニューから [シャットダウン] [コンピュータを再起動する]の順に選択し、サーバーを再起動します。
7. サーバーが使用可能な状態になった後、手順6を再度実施します。
8. Command WorkStationのメニュー「サーバー」、「ページの印刷...」の順に選択します。
9. 表示された「ページの印刷」画面で「設定情報」を選択し、「印刷...」ボタンをクリックします。
10. 「プリンタ設定」画面で、「OK」ボタンをクリックします。
出力された設定情報ページの「更新情報」欄に『1-EG20V』が追加されていることを確認してください。

補足: このパッチをインストールすると、Windows NTのアカウント「Administrator」のパスワードが設定されていない場合、「Fiery.1」というパスワードが設定されます。

Fiery EX2000d v2.0J SP1の「MS SERVICE PACK 6a + HOTFIXES」適用手順

「v2.0J SP1 Media Pack」内の「EFI Fiery® EX2000d v2.0JSP1 MS SERVICE PACK 6a + HOTFIXES」CDを使って、Fiery EX2000dカラーサーバーに適用します。

-
1. Fieryカラーサーバー以外のすべてのアプリケーションを終了します。
Fieryカラーサーバー本体のLCDの表示が、使用可能状態であることを確認してください。
 2. 「EFI Fiery® EX2000d v2.0JSP1 MS SERVICE PACK 6a + HOTFIXES」CDをCD-ROMドライブに挿入します。
このとき、システムの再起動は行わず、自動的にインストールが開始されるまで待ってください。
 3. LCDに「Remove CD and recycle power」というメッセージが表示されたら、「EFI Fiery® EX2000d v2.0JSP1 MS SERVICE PACK 6a + HOTFIXES」CDを取り出します。
 4. デスクトップ上のスタートメニューから [シャットダウン] [コンピュータをシャットダウンする]の順に選択します。
 5. 電源を落としても大丈夫な状態となったら、背面パネルの電源スイッチを使用して電源を切ります。
 6. 10秒ほど待ってから、背面パネルの電源スイッチを使用して電源を入れます。
Windows NTが起動され、初回のログインだけは自動的に実行されます。

Windows® Updateの実施手順

マイクロソフト株式会社より提供されている修正プログラムを、外部ネットワークに接続して、Windows® Updateにより更新する手順を記述します。

- サーバーのネットワークの設定を確認する。
- インターネット オプションの設定を確認する。
- Internet Explorerを起動し、Windows® Updateを実行する。

サーバーのネットワークの設定

サーバーが外部ネットワークに接続可能な設定であることを確認します。
不明な場合は、ネットワークの管理者にお尋ねください。

インターネットオプションの設定

次の手順で「インターネットオプション」を設定します。

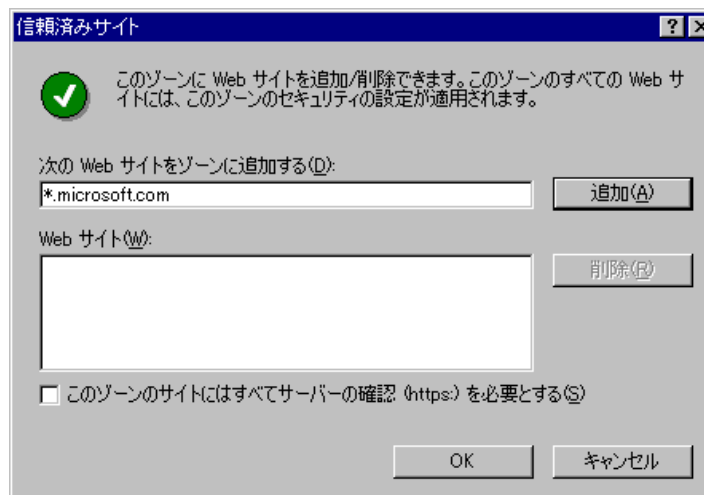
1. 「スタート」メニューから「設定」「コントロールパネル」の順に選択します。
2. 表示された「コントロール パネル」画面の「インターネット オプション」ア

アイコンをダブルクリックします。

- 表示された「インターネットのプロパティ」画面上的「セキュリティ」タブをクリックし、「信頼済みサイト」ゾーンを選択し、「サイト…」ボタンをクリックします。



- 「次のWebサイトをゾーンに追加する」欄に「*.microsoft.com」と入力し、「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする」のチェックを外し、「追加」ボタンをクリックします。



Windows® Updateの実施手順

次の手順でWindows® Updateを実施します。

注記: Windows® UpdateはInternet Explorerを使用します。本書に記述している操作だけでご利用ください。

1. Administratorsの権限を持つユーザーで、Fieryカラーサーバーにログインします。
2. デスクトップ上のInternet Explorerアイコンをダブルクリックするか、画面左下の「スタート」メニューからInternet Explorerを起動します。



3. インストール直後は、「Internet Explorerのオンデマンドインストール」ウィンドウが表示されます。「ダウンロード」をクリックしてください。表示されない場合は、手順5へ進んでください。



3. ダウンロードが開始され、「セキュリティ警告」ウィンドウが表示されます。「はい」をクリックします。

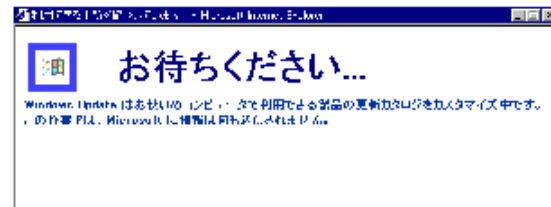


5. メニューバー「ツール>Windows Update」を選択するか、または、次のURL（アドレス）を直接指定します。

http://windowsupdate.microsoft.com/



6. 画面中の「製品の更新」をクリックします。



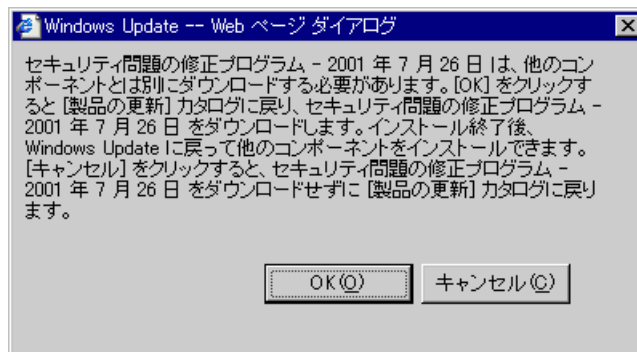
7. 「ソフトウェアの選択」画面が表示されます。



注記: 適用可能なプログラムは「重要な更新とService Pack」に表示されている修正プログラムだけです。

また、弊社にて動作確認が済んでいる修正プログラムだけを適用してください。

- 適用する修正プログラムのチェックボックスをクリックし、「ダウンロード」と明記された矢印をクリックします。単独でダウンロードする必要のあるプログラムを選択している場合、次のダイアログウィンドウが表示されます。単独で選択している場合は、「OK」をクリックします。

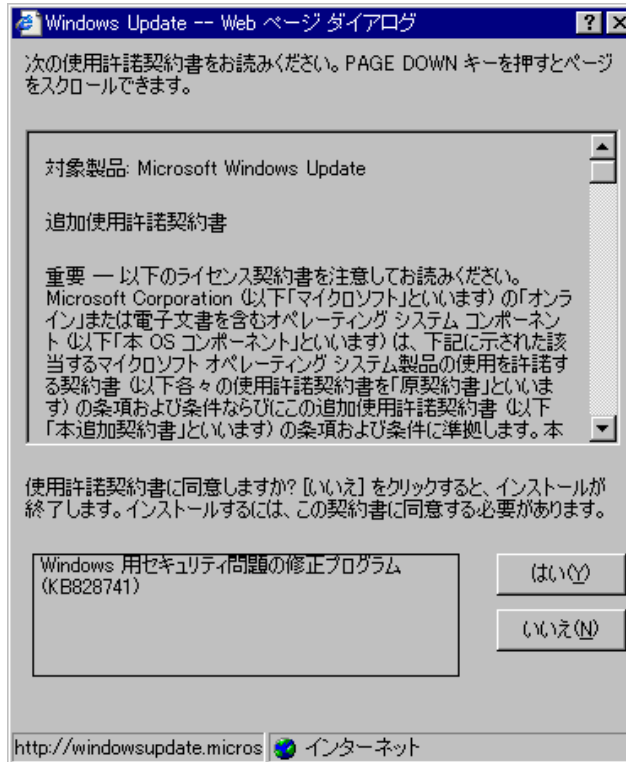


複数のプログラムを選択している場合は「キャンセル」をクリックし、手順7に戻り、いずれかのプログラムのチェックを外してから、再度ダウンロードを選択してください。

- 「選択の確認」で表示されている修正プログラムを確認し、間違いがなければ「ダウンロード開始」をクリックします。間違っていれば、「戻る」をクリックし、手順7の「ソフトウェアの選択」画面に戻ってください。



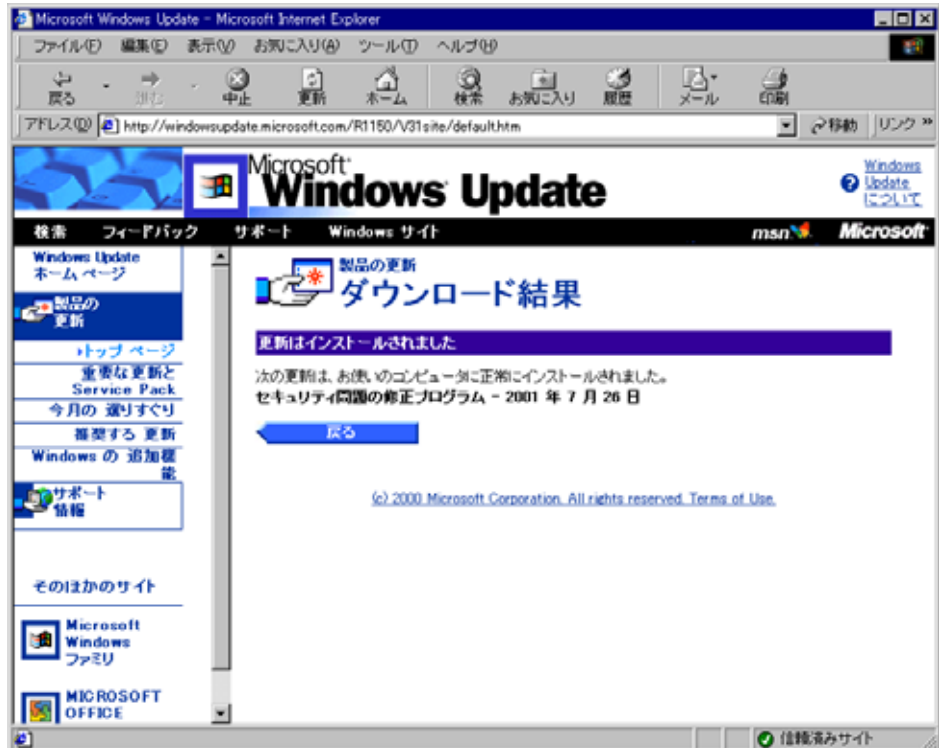
10. 「使用許諾契約書」画面が表示された場合、内容を確認し、「はい」をクリックします。



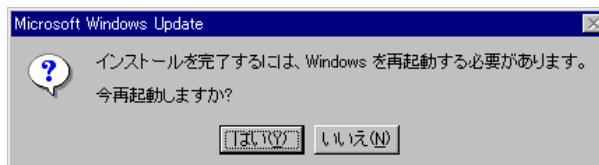
11. ダウンロードとインストールが実行されます。処理が終了するまでお待ちください。



12. 処理が終了すると、次の画面が表示されます。



処理終了後、再起動が必要な修正プログラムの場合は、次のウィンドウが表示されます。



「はい」を選択し、再起動します。

13. 再度、手順1から6を実行します。

「重要な更新とService Pack」の欄に、対応が必要な修正プログラムが表示されていれば、ダウンロードを実施してください。

補足: これまでに弊社から提供してきたPSファイルのパッチをFieryカラーサーバーに適用している場合、該当の箇所に「インストール済み」と表示され、インストールは実行されません。どちらの方法でインストールしても、サーバーの状態は同じになります。

セキュリティ更新プログラムのダウンロードと適用手順

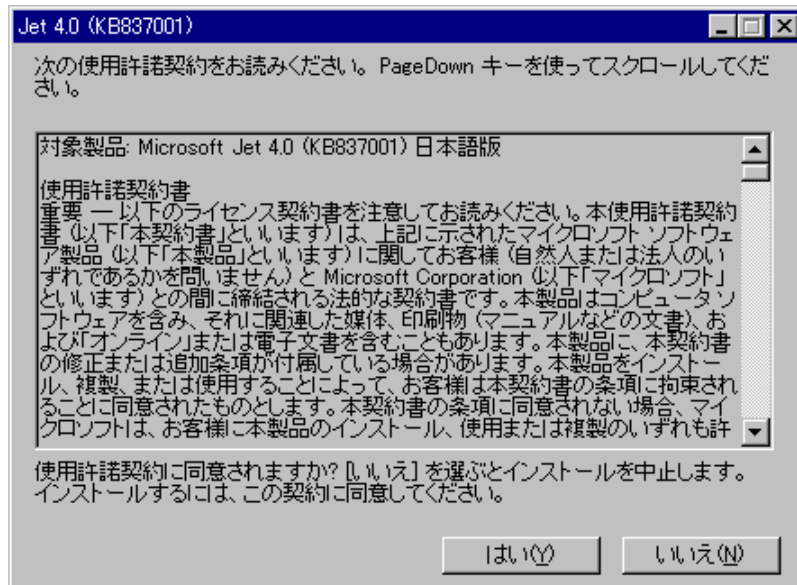
セキュリティ更新プログラムを、直接ダウンロードし、Fieryカラーサーバーに適用する手順を記述します。

1. Internet Explorerを起動します。
補足: Fieryカラーサーバーが外部ネットワークに接続していない場合は、別のマシンで実施し、MOやネットワーク経由でサーバーに移動してください。
その際、任意のブラウザソフトウェアをご使用いただけます。
2. マイクロソフト社のホームページで、セキュリティ更新プログラムのページを検索し、実行ファイルをダウンロードします。

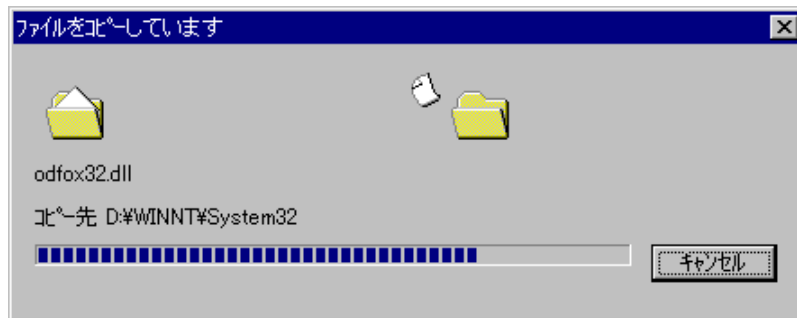


3. Administratorsの権限を持つユーザーで、Fieryカラーサーバーにログインします。
4. Fieryカラーサーバー以外のすべてのアプリケーションを終了します。
Fieryカラーサーバー本体のLCDの表示が、使用可能状態であることを確認してください。
5. マイクロソフト社のホームページからダウンロードした実行ファイルを、デスクトップ上にコピーします。
コピーした実行ファイルをダブルクリックします。

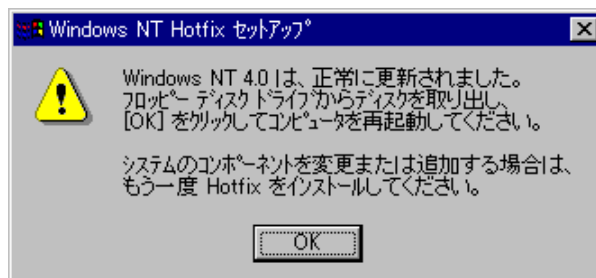
6. 「使用許諾契約」の画面が表示されたら、「はい」を選択します。



インストールが実行されます。



7. インストール後は、コンピュータの再起動が必要になる場合があります。上記メッセージが表示された場合、「OK」をクリックします。



「OK」をクリックした後、自動的に再起動されます。

補足：セキュリティ更新プログラム適用の必要性と動作確認の状況

2004年10月22日現在のセキュリティ更新プログラムの状況です。

Fieryカラーサーバーに適用が必要であり、動作を確認したセキュリティ更新プログラムの一覧表です。MS04-038まで確認が終了しています。それ以前の物で一覧表にないものは適用の必要はありません。

なお、Internet Explorer 6 Service Pack 1でご使用ください。インストールに際しては「最小構成インストール」を選択し、最小構成でインストールしてください。

MS 情報番号	脆弱性の内容	対応
MS04-025 (Q867801)	Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム	Windows® Update
MS04-024 (Q839645)	Windows シェルの脆弱性により、リモートでコードが実行される	Windows® Update
MS04-023 (Q840315)	HTML ヘルプの脆弱性により、コードが実行される	Windows® Update
MS04-020 (Q841872)	POSIX の脆弱性により、コードが実行される	Windows® Update
MS04-014 (Q837001)	Microsoft® Jet データベース エンジンの脆弱性によりコードが実行される	MSセキュリティ更新プログラム
MS04-012 (Q828741)	Microsoft® RPC/DCOM 用の累積的な修正プログラム	Windows® Update
MS04-011 (Q835732)	Microsoft® Windows®のセキュリティ修正プログラム	Windows® Update
MS04-007 (Q828028)	ASN .1 の脆弱性により、コードが実行される	MS04-011を適用
MS04-004 (Q832894)	Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ修正プログラム	Windows® Update
MS03-048 (Q824145)	Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新	MS04-004を適用
MS03-045 (Q824141)	リストボックスおよびコンボボックスのコントロールのバッファ オーバーラン	MS04-011を適用
MS03-044 (Q825119)	Windows® の「ヘルプとサポート」のバッファ オーバーラン	Windows® Update
MS03-043 (Q828035)	メッセンジャ サービスのバッファ オーバーラン	Windows® Update
MS03-041 (Q823182)	Authenticode® の検証の脆弱性	MS04-011を適用
MS03-040 (Q828750)	Internet Explorer 用の累積的な修正プログラム	MS04-004を適用

MS03-039 (Q824146)	RPCSS サービスのバッファ オーバーランによりコードが実行される	MS04-012を適用
MS03-034 (Q824105)	NetBIOS の問題により、情報が漏えいする	MSセキュリティ更新プログラム
MS03-032 (Q822925)	Internet Explorer 用の累積的な修正プログラム	MS04-004を適用
MS03-026 (Q823980)	RPC インターフェイスのバッファ オーバーランによりコードが実行される	MS04-012を適用
MS03-023 (Q823559)	HTML コンバータのバッファ オーバーランにより、コードが実行される	Windows® Update
MS03-020 (Q818529)	Internet Explorer 用の累積的な修正プログラム	MS04-004を適用
MS03-015 (Q813489)	Internet Explorer 用の累積的な修正プログラム	MS04-004を適用
MS03-013 (Q811493)	Windows カーネル メッセージ処理のバッファ オーバーランにより、権限が昇格する	MS04-011 を適用
MS03-011 (Q816093)	Microsoft VM の問題により、システムが侵害される	Windows® Update
MS03-010 (Q331953)	RPC エンドポイント マッパーの問題により、サービス拒否の攻撃が実行される	MS04-012を適用
MS03-008 (Q814078)	Windows スクリプト エンジンの問題により、コードが実行される	Windows® Update
MS03-004 (Q810847)	Internet Explorer 用の累積的な修正プログラム	MS04-004を適用
MS02-069 (Q810030)	Microsoft VM の問題により、システムが侵害される	MS03-011 を適用
MS02-068 (Q324929)	Internet Explorer 用の累積的な修正プログラム	MS04-004を適用
MS02-066 (Q328970)	Internet Explorer 用の累積的な修正プログラム	MS04-004を適用
MS02-055 (Q323255)	Windows ヘルプ機能の未チェックのバッファにより、コードが実行される	MSセキュリティ更新プログラム
MS02-052 (Q329077)	Microsoft VM JDBC クラスの問題により、コードが実行される	MS03-011 を適用
MS02-050 (Q329115)	証明書確認の問題により、ID が偽装される	MS04-011 を適用
MS02-006 (Q314147)	SNMP サービスに含まれる未チェックのバッファにより、任意のコードが実行される	v1.2J用 EFI提供パッチ (1-5NRLM.ps)*1
CERT® Advisory CA-2002-17	Apache Web サーバにおける chunk データ処理の脆弱性	v1.2J用 EFI提供パッチ (1-6Y4TH.ps)*1

*1 Fiery EX2000 v1.2Jだけに必要なセキュリティ更新プログラムです。

著作者 富士ゼロックス株式会社

発行者 富士ゼロックス株式会社

ヒューマンインターフェイスデザイン開発部

発行年月 2004年11月 第2版

帳票 No. MT3124J1-1